

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001849
事業所名	グループホーム やすらぎの里 中野新町

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)	評価
	ホームの理念に基づき、散歩や神社清掃で挨拶を交わしたり、子供会との交流を楽しんだり、学区の運動会や納涼祭等、地域行事にも参加したりと日常的に交流している。また、地域へのホーム行事案内の発信で、夏祭りでは多くの人の参加がありホームを開放して飲食店やバザーを行った。喫茶店等の方も入居者を快く受け入れ、連絡をしてくれたりと双方に良好な関係が築かれている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)	評価
	年に6回開催し、町内会長、地域代表、家族や入居者代表の参加を得ている。開催が参加者の都合で日曜日のため市や地域包括支援センター職員が今まで参加していない。会議はホームの実情を伝え取組みを知って、意見交換しながら更なるサービス向上へ活かしていくことが重要なので、年に最低1回でも参加してもらえるような働きかけを期待したい。また、家族や職員への議事録の開示にも努力されたい。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目:4)	評価
	区役所には介護保険の更新申請や保護課へ生活保護の報告で訪問している。定期的にホームの実情やサービスの取組みを伝えることはしていない。運営推進会議議事録も届けていない。地域福祉の推進役であることからまずは情報提供をし、何か課題や困難事例発生時に解決に向け相談できるような協力体制の構築、市町村主催のイベントへの参加が期待される。	×
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)	評価
	家族会や意見箱はなく、職員は家族の来所時に声をかけ、状況を伝えながらコミュニケーションを図り、意見や要望を気軽に話せるような雰囲気作りに努めている。毎月発行の新聞「やすらぎ」に、イベント時の写真や様子、次回イベントのお知らせを載せ請求書とともに送付している。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×				

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2.事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3.運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4.市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。  市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6.運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。  利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。